

広報

たかはる

1

令和4年 No.729
2022.Jan

年頭の辞

高原町長 高妻 経信

明けましておめでとうございませう。

皆様方には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、世界中が新型コロナウイルスに翻弄された一年でありました。日本では、ワクチン接種が進み日常生活や社会・経済活動が徐々に正常に戻りつつあります。町民の皆様には、感染拡大防止にご協力をいただき本町での感染拡大は最小限に抑えられており、心から感謝を申し上げます。

本町でも3回目のワクチン接種が始まっています。第6波の感染拡大に備えつつ町民の皆様が安心して接種できる体制を整えて参りたいと考えております。

高原病院では、協力医療機関としてこれまで感染患者を受け入れて参ります。今後もワクチン接種、発熱外来の診療など公立病院としての役割を果たして参ります。町長として一期目の任期中に私が特に感じましたのは、高原町の人口減少が急激に進んでいるということです。

特に、若者を中心に生産年齢人口の減少が目立っています。人口減少は、高原町の経済減退、農業を始めとする地場産業の後継者不足、学校の存続、地域の伝統行事の継承など多方面に影響を及ぼしています。

更に町中を見渡しますと空き家、空き店舗が増えており、町の過疎化が進んでいることを実感せざるを得ません。

人口減少対策と共に人が減っても持続

可能なまちづくりをいかにしていくかが本町の大きな課題であり、常に未来を見据えた行政運営が求められています。また、他にも役場だけでは対応できない課題も多くあり、民間の力と連携していくことが求められています。

一方で高原町は、観光や農産品など豊富な資源に恵まれています。このような資源を町民の皆さんと共に掘り起こし、活用していけば高原町は更に豊かになり、発展していく可能性があります。そこで、基幹産業である農畜産業の強みを活かした高収益商品の開発、販路の拡大、ふるさと納税の推進、観光資源の活用などにより、町の活性化を図るため令和4年度に地域商社を設立致します。このことにより、今年には高原町にとって大きな飛躍の年になることを確信致しております。

今年も「高原町民の誰もが住み続けながら豊かさや幸せを実感できる町」を目指し、町政運営に当たって参ります。今年こそコロナが収束し、日本が災害のない平穏な年となり、町民の皆様にとりましても素晴らしい一年になることをご祈念申し上げます。



新年のご挨拶

高原町議会議長 温谷 文雄

新年明けましておめでとうございませう。

皆様方には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今もなお世界的な流行を見せえています。新型コロナウイルス感染症は、中国で初めて報告されてから既に2年が経過しました。

足下では、感染状況の落ち着きが見られましたが、年末にかけ、過去最多の感染者数を記録する国も出ているほか、新たなオミクロン株が多く国で確認されるなど、かけがえのない命が失われ、経済も膨大な損失を被り続けており、引き続き徹底した感染防止に取り組みことが重要な課題となっております。

また、昨年も、台風や豪雨をはじめ、地震や噴火、竜巻等による自然災害が数多く発生し、尊い命や貴重な財産が奪われるなど世界各地に大きな被害をもたらしました。

新型コロナウイルス感染症はもとより、自然災害により、世界中で、そして国内でも多くの方が亡くなっていることに對し、お悔やみ申し上げますとともに、日夜献身的に力を尽くされている医療従事者の皆様方や被災地の復旧・復興に力を尽くされている皆様方に深く敬意と謝意を表しますとともに、被害にあわれた方の一日も早い復興を願っています。

さて、ご案内のとおり、町の保有する公共施設等のうちの約3割にあたる建物が昭和56年以前の建物で、老朽化が進

んでいることから大規模改修や建て替えなどの早急な対応が求められています。

こうした中、町当局においては、「公共施設等整備の基本方針」を定め、役場庁舎・学校・中央公民館・保育所・体育館について優先的にその整備を進めることとし、その中でも、特に、小学校の建設を先に進め、その後に庁舎建設を行うこととしています。

このような状況の中、議会においては、「高原病院改革特別委員会」の名称を「公共施設の在り方検討特別委員会」へと変更し、町民の皆さんが必要とするサービスを効率的・持続的に提供できるように、高原病院の経営及び今後の在り方に加え、庁舎をはじめ、学校施設等の在り方等についても調査研究を行うこととしました。

引き続き、町民の皆様の声をしっかりとお聞きする中で、町当局と議論を重ね、ともに創意工夫と英知を結集し課題解決に努力し、より一層活発な議会活動を推進してまいります。

新しい年が穏やかな年となることを、心からお祈り申し上げます。新年の挨拶いたします。どうぞ本年もよろしくお願ひ申し上げます。





未来のために 乗って残そう 公共交通



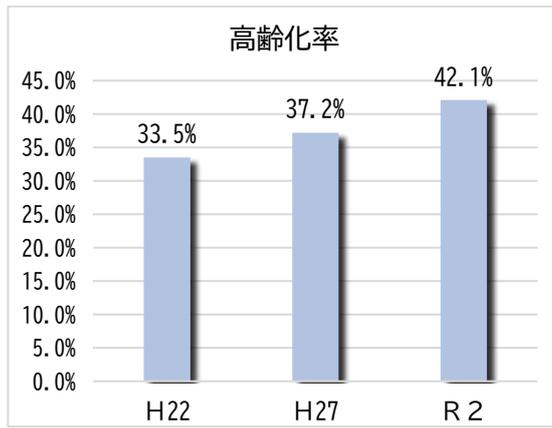
皆さんは公共交通を利用されていますか？
鉄道や路線バス、乗合タクシーなどの公共交通機関は、利用者が減少傾向にあります。将来必要となった時にもうすでに公共交通手段がなくなっている可能性が十分あります。

公共交通を守るには、今のうちから継続して利用することが重要です。



公共交通の役割

少子高齢化が進む中、免許返納などにより自分で車を運転しなくなっただ方や、車を持たない方が増えていきます。高原町でも、今後さらに少子高齢化が進み、人口が減少することが予想されているため、交通手段の確保は大きな課題となっています



このような状況のなか、公共交通は買い物や通院、通勤・通学の際に安心して利用できる交通手段であり、地域になくてはならないものです。

公共交通は単なる移動手段であるだけでなく、利用することで生まれるメリットがあります。CO₂の削減

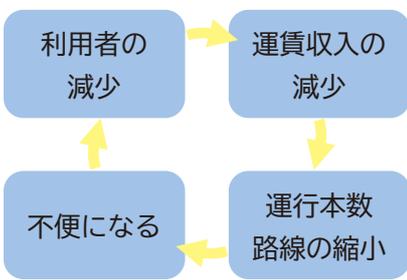
や事故リスク軽減などがあげられます。また、日々の暮らしを支えるだけでなく、交流やにぎわいなど、まちづくりにおいても役割を担い、地域のあり方にも関わっています。

「いつか自分が運転できなくなった」「子どもが通学するようになったら」「公共交通の問題を自分の事として考えることが、今後、公共交通を維持することにつながります。

利用者が減ると...

現在、高原町の公共交通の利用状況は、年々減少の一途をたどっています。利用者が減少すると、運賃収入の減少により公共交通を担う事業者の負担は増加し、運行本数や路線の縮小を余儀なくされます。それにより、利用者は不便になり、さらに利用者が減少するという悪循環を引き起こします。

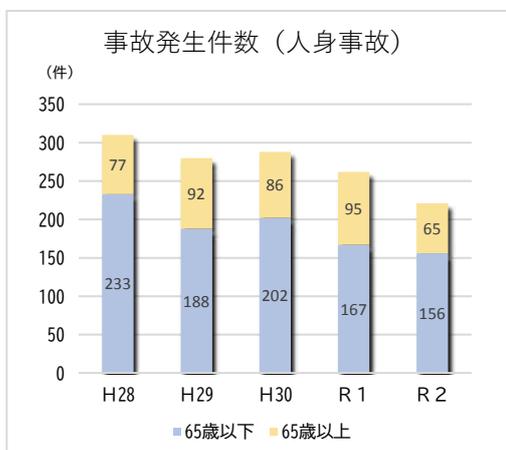
利用者減少による悪循環サイクル



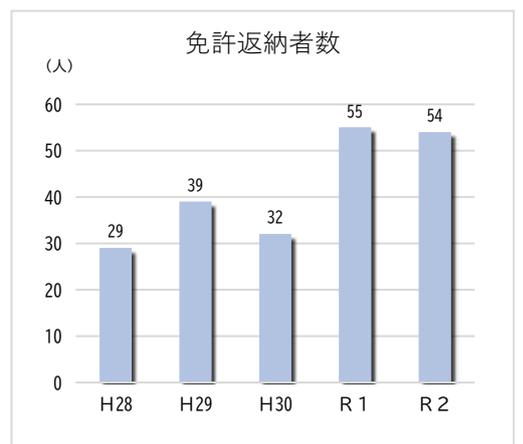
考えてみませんか 運転免許証の自主返納

ここ数年、高齢者による交通事故が多発しています。加齢による認知機能や運動機能の低下により交通事故のリスクは大きく高まります。

小林警察署管内でも交通事故（人身事故のみ）の当事者を年代別にみると、65歳以上が約3割を占めています。



このようなことから、高原町内でも、免許返納する方が増加傾向にあります。運転に不安を感じたら免許返納の時期かもしれません。



・高齢者の運転免許証の自主返納を支援しています。

タクシー利用券の交付

運転免許証を自主的に返納しやすい環境を整備するため、返納時に町内在住の満65歳以上の方にタクシー利用券を交付しています。

電動三輪車の利用促進

高齢者の日常生活の移動手段として、安全性が高く、買い物などにも便利な電動三輪車を無料で貸し出しています。



高原町の公共交通

高原町では乗合タクシー、路線バス、鉄道(JR吉都線)の3つの公共交通があります。

それらの公共交通の現在の状況や取組み、事業者からの声を紹介します。

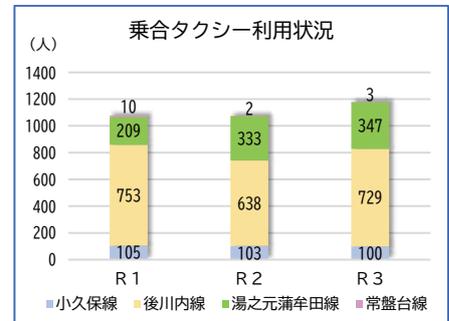


01 ▶ 乗合タクシー

鉄道や路線バスが走っていない地域を補完する役割を担っているのが乗合タクシーです。

乗合タクシーは、小久保線、後川内線、湯之元蒲牟田線、常盤台線の4路線が運行されています。鉄道やバスに比べると利用者数の減少は小さくなっていますが、小久保線、常盤台線については減少傾向にあります。

一部完全予約制を導入する等、利用しやすい運行形態にするため、随時ダイヤやルートの変更を検討しています。



令和3年10月より、小久保線の月曜日・木曜日運行に金曜日加わり、運行日が増えましたが、完全予約制になりました。常盤台線も完全予約制で、月曜日と木曜日の運行となっていますが、ご利用される方が非常に少ない状態となっております。後川内線(火曜・金曜・土曜)と湯之元蒲牟田線(水曜・土曜)はご利用の

いつも、乗合タクシーをご利用いただきありがとうございます。
乗合タクシーは、小久保線、後川内線、湯之元蒲牟田線、常盤台線の4路線を運行させていただいております。町内の病院へ通院、お買い物等ご利用される方がほとんどですが、乗合終了後、小林市内まで通乗タクシーでご利用されるお客様もいらっしゃいます。

様々な用途に 乗合タクシーを



宮交タクシー株式会社
小林営業所長
西久保 浩一 さん

利用者の声



松石マツギさん(湯之元区)

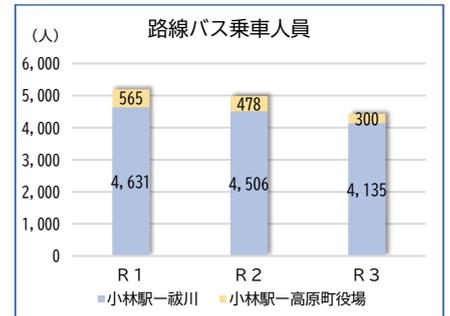
月1回病院へ通うために利用しています。自宅近くから乗車でき助かっています。乗合タクシーは移動手段というだけでなく、地区の人とコミュニケーションの場にもなっています。今後も運行を継続してほしいです。

方が少しずつ増え、続行便が出る日もございます。
1回300円で、ご利用できる乗合タクシーですので、ぜひ、町民の皆様にご利用していただきたいと思っております。

路線バスは、小林駅から祓川を結ぶ路線（祓川線）と小林駅から西都城駅を結ぶ路線（都城—小林線）があります。祓川線は県の補助を受け運行を続けていますが、乗車密度 1.0 を維持することが条件となっています。ここ数年は 1.0 を維持していましたが、令和 3 年度は 0.9 となりました。

令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響等もあるため 1.0 の条件は外されていますが、非常に厳しい状況です。

都城—小林線においても、乗客数が減り赤字額が拡大しており、このままでは路線の維持が難しい状況です。



取り組んでいます

バス利用助成

①小中学校等利用促進事業

町内小学校、中学校、保育所、幼稚園、子ども会、スポーツ少年団等が祓川線を利用した際の運賃を全額補助します。

②悠々バス購入費補助

町内在住の 65 歳以上を対象に悠々バス購入費用の半額を補助します。

- ・悠々バス 6 か月定期 15,000 円⇒7,500 円
- ・悠々バス 3 か月定期 9,000 円⇒4,500 円

また、宮崎交通では 2020 年からバスロケーションシステムの運用を開始いたしました。バスロケーションシステムとは、バスの位置情報や遅延情報といったリアルタイム

ご利用いただけるよう、バス車内の換気や消毒はもちろん、様々な取り組みを実施しております。

日頃より宮崎交通をご利用いただき誠にありがとうございます。世界的に新型コロナウイルスの影響が続く中、町民の皆様も日常生活が制約される状況が続いており、様々な面で影響が及んでいるかと思われまます。路線バスにおいても、その影響は顕著に表れており大変厳しい状況が続いております。そのような状況下ですが、お客様に少しでも安心して、快適にバスをご利用いただけるよう、バス車内の換気や消毒はもちろん、様々な取り組みを実施しております。

新たな取組みで 利用しやすい公共交通を



宮崎交通株式会社
乗合部乗合業務課
西村 篤史 さん

利用者の声

病院に通うため、月に 2 回利用しています。とても便利がいいです。(80代・女性)

小林に買い物に行くのに利用しています。(70代・女性)

の情報を WEB サイトから確認することができるとシステムです。お持ちのスマートフォンなどで、バス停に設置されている QR コードを読み込むと、便ごとの接近情報や遅延情報をご確認いただけます。宮崎交通が運行する一般路線バスのバス停全てが対象となっているため、どのバス停から乗る場合でもご利用いただけます。また、宮崎交通 HP から「路線バスの位置情報」の項目を選択すると、ご自宅や外出先からでもバスの情報をご確認いただけます。バスをご利用の際は、ぜひバスロケーションシステムをお試しください。

宮崎交通は、これからも公共交通の担い手として、お客様に安心してバスをご利用いただけるよう日々の業務に取り組んでまいります。

03

▶ 鉄道（JR吉都線）

吉松駅—都城駅間を運行しており、高原町では高原駅、広原駅の2つの駅を通過します。2020年度平均通過人数（吉松駅—都城駅間）は408人となっており、利用者は減少傾向にあります。また、2020年度の線区別収支では赤字額が3億4,000万円となっています。

毎年大きな赤字を計上しており、このままでは路線の維持が難しくなる恐れがあります。



取り組んでいます

JR吉都線利用促進協議会

この協議会はJR吉都線沿線5市町（都城市、小林市、えびの市、湧水町、高原町）で組織されています。吉都線を利用した観光ツアーや様々なメディアを活用した情報発信を行っています。

また、沿線活性化に取り組む団体活動に対する補助金や小中学校、保育園、幼稚園等がJR吉都線を利用した際の運賃を全額補助するなど、少しでもJR吉都線を利用しただけのようなきっかけづくりをしています。



JR吉都線利用促進協議会
ロゴマーク

吉都線のご利用状況は、当社が発足した1987年度と比べると7割以上も減少しています。高原町の人口は約3割の減少、列車本数は約2割の減少であることと比べても、ご利用状況は著しく悪化しているのが実情です。吉都線沿線の方を対象にしたアンケートでも、普段の外出時に吉都線をご利用される方は4%に留まっており、地域交通として吉都線を選んで頂けない現状に、当社としても大変な危機感を持っています。

当社では利用促進や沿線の魅力発信に努めるとともに、様々な経費節減に取り組んできましたが、昨年度は収益の5倍を超える3・4億円の赤字となりました。

吉都線を日常の足へ 地域とともに取り組む

INTERVIEW



九州旅客鉄道株式会社
鹿児島支社副支社長
吉住 信哉 さん

そのような状況の中、高原町をはじめとする吉都線沿線の自治体の皆さまと一緒に吉都線の利用促進に取り組んでいるところです。地域の交通を支えているのは沿線に住む皆さまです。吉都線を日常の足として選んで頂き、皆さまとともに吉都線の持続可能性を高めていきたいと考えております。

さっさと 会いに行くよ〜
僕らに乗せて 今日走る〜♪



JR吉都線応援大使 大野勇太さん

私も、高校時代に通学で利用していた思い出の詰まった吉都線です。
吉都線を未来に残すために
皆で利用していきましょう!!

取り組んでいます

公共交通に関するその他の取り組み

無料レンタサイクル

令和3年9月より公共交通の補完、観光振興などを目的とした無料レンタサイクルの運行を開始しました。町内4カ所のレンタルスポット(高原駅、高原町役場、高原町中央公民館、ほほえみ館)を設置しており、申込書を提出いただければどなたでも利用できます。公共交通を利用の際の、乗り継ぎ手段としてご利用ください。



サイクルロゲイニング in 北霧島

11月7日にえびの市・小林市・高原町全域を会場とし開催されました。サイクルロゲイニングとは、あらかじめ決められたチェックポイントに点数が振り分けられており、そのチェックポイントをなるべく多く回り、獲得した点数を競う競技です。

今回のサイクルロゲイニングの特徴は、移動手段が自転車と電車であることで、電車を活用したサイクルロゲイニングは日本初でした。

J R 吉都線絵馬企画

J R 吉都線の駅では、絵馬の掲示台を設置しています。J R 吉都線沿線にはパワースポットが数多く点在しており縁起のよい沿線です。不思議なパワーが頑張るあなたの背中を“きっと”押ししてくれるはず。あなたの願い事を書いた絵馬を掲示してみませんか？集まった絵馬は、厄除けや開運にご利益があるとされる東霧島神社へ納めます。



公共交通を取り巻く環境は年々厳しい状況となっています。少子高齢化に伴う人口減少や移動手段の変化等、利用者減少の要因は様々あります。又、公共交通に対する需要や考え方は、世代や生活環境で大きく異なります。すべての要望に応えるのは難しいかもしれませんが、利用者の方々の声に耳を傾けながら、様々な手段を検討しながら利用促進を進めていきます。

公共交通を利用することで、普段自動車を運転している時間が、好きな本を読む時間、景色を楽しむ時間、ゆっくりと物事を考える時間になります。普段と違う時間の使い方をしてみるといいかもしれません。

公共交通を利用することが環境にやさしく、交通弱者に対応した地域の公共交通を守ることに繋がります。

公共交通の未来、今一緒に考えてみませんか？

第63回宮崎県畜産共進会開催

10月26日、株式会社ミヤチク高崎工場において、第63回宮崎県畜産共進会の肉牛枝肉の部が開催されました。今回は、県内100頭が出品され、肉質4等級以上の上物率は100%で、最高ランクの5等級以上は97頭でした。

高原町からは4頭が出品され、今西良一さん(常盤台区)が出品された佑介号が、今回から新設された特別賞である脂質賞※を見事に受賞されました。

また、11月27日には都城地域家畜市場において、乳用種種牛の部が開催され、西諸地域17頭の枠のうち高原町から5頭が出品されました。

高原町内の出品された方々は、下記のとおりです。

※脂質賞…うま味を表す指標の一つ「一価不飽和脂肪酸(MUFA)」の含有率が最も高いものに贈られる賞



【肉牛枝肉の部】

出品者	名号	血統構成
常盤台区 今西良一さん	佑介号	耕富士×華喜久美×美穂国
常盤台区 有村久さん	司513号	耕富士×義美福×美穂国
花堂区 (有) 松岡ファームさん	司526号	満天白清×富久竜×美穂国
花堂区 鳥丸軍三さん	忠美桜号	耕富士×美穂国×忠富士

【乳用種種牛の部】

出品者	部類	名号	結果
常盤台区 石山宗行さん	第5類	SH エルガス レオ 祇	弐等賞
	第6類	SH 570 エルガス ライン ミラクル	弐等賞
常盤台区 清水豊さん	第1類	SWF ツークラウン フラズルト ガツヤン	弐等賞
	第4類	SWF エポ マーレン ネーション ET	弐等賞
	第5類	ビツクビ-チ アップル マツカエリン ET	弐等賞



高原中学校男子バレーボール部 県秋季大会で準優勝に輝く

11月7日から8日にかけて、第45回宮崎県中学校秋季体育大会が開催され、高原中学校男子バレーボール部が準優勝に輝きました。決勝は妻ヶ丘中学校と対戦し、フルセットの接戦になりましたが、あと1点が遠く、惜しくも敗退し、昨年度優勝に続く連覇はなりませんでした。今後は、1月に開催されるJA共済杯での優勝を目標に、チーム一丸となり練習に取り組むとのことでした。

宮崎県企業進出ドラフト会議に参加

11月18日、宮崎観光ホテルにおいて、宮崎県企業進出ドラフト会議が開催されました。この会議はプロ野球のドラフト会議に見立て、企業を球団、自治体を選手とし、企業と自治体のマッチングを図るイベントです。当日は、各自治体の熱のこもったプレゼンテーションが行なわれ、本町は株式会社ナイトレイ(東京都)から1位指名を受け、独占交渉権を得ました。今後は、商工業や観光業の振興及び地域の活性化に結び付く事業展開に向け協議等を行っていきます。



安全運転を心がける

11月12日、総合運動公園において、小林地区交通安全協会高原支部主催による、交通安全グラウンド・ゴルフ大会が行われました。

当日は町内から165名の参加があり、元気にプレーされていました。競技開始に先立ち、小林警察署交通課の講師から交通安全についての講話をいただき、交通事故防止に関する意識の高揚を図りました。また、休憩時には高齢運転者の事故防止を目的とした“制限運転”の宣誓を行いました。これからも交通事故を起こさないよう、優しい運転を心がけましょう。



県南地区小学生剣道大会で 高原少年剣道が健闘

11月21日、高原小学校体育館において、令和3年度県南地区小学生剣道大会が開催され、小学校低学年の部で高原少年剣道Aチームが見事3位に入賞しました。

高原少年剣道Aチームは、予選リーグから元気いっぱいの試合で連勝を重ね、決勝トーナメントの準決勝まで勝ち上がりました。準決勝では優勝したチームに惜しくも1本差で敗れましたが、今後ますますの活躍が期待されます。

前教育委員の今西美穂さんに感謝状

11月24日、前教育委員の今西美穂さん（下広原区）に宮崎県市町村教育委員会連合会から感謝状が贈呈され、教育長が伝達を行いました。

これは、4年以上の市町村教育委員の職にあった者に対し、在職中の功勞について表彰するものです。今西さんは、平成28年10月1日から令和2年9月30日までの間、本町の教育委員として教育行政の発展並びに推進に尽力されました。



高原の未来を考える

11月25日、高原中学校において、令和3年度地域とともにある学校づくり推進における調査研究会議が開催されました。

高原中学校の中山校長先生が本会議の趣旨を説明された後、地域・団体等の代表者による熟議が行われました。地域と学校の在り方について意見を出し合い、高原の未来について語り合いました。

宮崎県市町村対抗駅伝競走大会 高原町選手団が決定

11月25日、第12回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会の高原町選手団激励会が行われました。本大会は、1月10日に宮崎県庁をスタート・ゴールとして、各市町村の代表者が12区間で競い合います。

高原町選手団は、第10回大会において町村の部第4位、過去には準優勝5回、優勝2回という成績を収めています。今年も素晴らしい選手が集まり、上位入賞が狙えます。温かいご声援をよろしくお願い致します。



○監督・役員、選手の紹介（敬称略）

【監督】石山 宗行 【コーチ】福留 大樹、横山 歌織、柳 恭平、黒木 香織、山村 凱斗

【選考委員】九嶋 正人、酒匂 政利、前山 堯之

【小学生男子】工藤 佑椰、志村 蒼希、早田 琉晟、林 航平

【小学生女子】吉永 恵俐奈、杉安 舞美、今西 愛優菜、内田 京香

【中学生男子】大山 耀臣、温水 英真、田原 光輝、石山 弘樹 【中学生女子】西水流 千波、松山 夢華

【高校生】南 耀斗、脇田 晃成、九嶋 恵帆

【一般】福留 大樹、大迫 涼司、柳 恭平、田中 博幸、横田 秀二

「おてらんば」でふるさと教育を実施

11月25日、鹿児島区のおてらんばを中心に、高原中学校2年生がふるさと教育の一環として、あじさいの植栽と赤そばの刈り取りを行いました。

ふるさと教育とは、ふるさとを学びの対象、学びの場として捉え、「人・もの・こと」から直接学び、ふるさとに誇りを持ち、ふるさとを愛する心を育むことを目的としています。

今回の学びの場である鹿児島区では、地域コミュニティの構築及び景観美化の整備のため、平成28年から県道の沿路を中心に、あじさいの植栽を行っています。また、今年は新たな取り組みとして、赤そばの植栽も始めました。赤そばの植栽は、おてらんばや県道沿いの畑を借用し、約5,000㎡の土地に植えられ、秋には真っ赤な花を咲かせ、道行く人は車を止めて写真撮影するなど新しい観光スポットとなっています。

今回のふるさと教育を通して、植栽や刈り取りなど、普段の学校生活では経験できない作業の体験に加え、地域づくりの学習及び世代間交流も図られ、ふるさとを知るいい機会となりました。



高原少女バレースポーツ少年団 県大会で準優勝!!

11月28日、HottoMotto杯第30回UMK宮崎県小学生バレーボール大会で、高原少女バレースポーツ少年団が見事準優勝を果たし、11月30日に原賀喜也監督を始め、選手10名と黒仁田コーチが表敬訪問されました。

本大会の結果により、12月25日から27日にかけて沖縄県で開催される名鉄観光カップ第36回全九州小学生バレーボール男女優勝大会に出場が決定しました。



皇子原公園にテイクアウトカフェ 「cafe mineeette」がオープン

12月5日、皇子原公園神武の館に新しくできた「cafe mineeette (ミネット)」のオープニングセレモニーが開催されました。

このカフェは、皇子原公園の指定管理者である奥霧島温泉郷旅館組合・御池・皇子原事業部より委託された中堂蘭歩美さんが店長を務めます。皇子原公園ウッドパークプロジェクトの第2弾として宮崎県産の木材をふだんに使用して作られており、木育遊具施設「おうじばるの木」に隣接しているため、子どもたちが遊んでいる姿を眺めながら、木の持つぬくもりや香りとともに、ほっと一息つける場所となっています。

オープニングセレモニー当日は、関係者によるテープカットならぬ木材カットでオープンしました。カフェはもちろんのこと、町内製材業者の森木材工業のご協力による木育ワークショップも併設して行われ、多くの家族連れで賑わいました。



このカフェ設置にあたっては、宮崎県森林組合連合会（代表理事会長 長友幹雄氏）から寄付をいただいています。また、壁面のデザイン・制作は、小林高等学校探求科学コースの2年生の皆さんにご協力をいただきました。壁は、木材の特徴を活かした作り込みで、訪れた記念におしゃれな写真が撮れるスポットにもなっています。このように、多くの方々の思いが込められて、「cafe mineeette」はオープンに至りました。

カフェの営業時間は、午前10時から午後3時30分までとなっています。当分の間は、土曜日と日曜日にお店を開けることにしていますので、ぜひお越しください。

今後、皇子原公園では、プロジェクトの第3弾となる「屋根付き屋外木製遊具」が年度内に整備される予定となっています。公園の木質化を進めながら、本町のSDGsやカーボンニュートラル等へのシンボルとなる公園づくりを目指していきます。



ロコモ予防養成講座を開催

12月6日、ほほえみ館において、宮崎大学整形外科ロコモ推進スタッフによる、ロコモ※予防養成講座を開催しました。高原町の“いきいきリーダー”19名が参加し、宮崎大学整形外科 船元太郎医師によるロコモについての基礎講座を受講し、ロコモ度テスト体験やロコモーショントレーニングを行いました。

※ロコモ（ロコモティブシンドローム）…骨や関節、筋肉など運動器の衰えが原因で、「立つ」「歩く」といった移動機能が低下している状態のこと



ミニバスケットボールで全国大会出場決定

12月16日、高原小学校の内園来誠選手、谷口陽奏選手、荒牧幸太郎選手が表敬訪問されました。

選手の皆さんが所属する小林ミニレッドフェニックスは、11月に開催された第38回宮崎県ミニバスケットボールチャンピオンシップ大会において全戦全勝で優勝を果たしました。本大会の結果により、3月30日と31日に東京都で開催される第53回全国ミニバスケットボール大会に出場が決定しました。

広原小学校が「広っ子米」を販売

12月17日、広原小学校の5年生が役場で、もち米「広っ子米」の販売を行いました。

これは、総合的な学習の時間に、5年生が田植えを行い、全校生徒で稲刈りを行ったものです。販売した小学生は、自分たちで苦労して収穫したもち米を、大勢の方に買ってもらい、とても充実した笑顔を見せていました。



新年への願いを込めた書の奉納

12月18日、狭野神社において、「令和」及び「年賀」の書並びに新年の抱負漢字の奉納式が行われました。これは、高原町観光協会、御代替わり奉祝実行委員会、狭野神社及び高原中学校が協働して開催したものです。

当日は、改元時に高千穂峰の山頂で揮ごうした「令和」の書に加え、高原中学校の村川明さんが執筆した「年賀」の書と、全校生徒一人ひとりがそれぞれの願いを込めた漢字一文字を張り合わせ作成した来年の抱負漢字「夢」を生徒会副会長の下村敏暉さんが代表で奉納しました。





勇壮に舞う 高原の神舞

12月4日から5日にかけて、狭野神社第2鳥居前で狭野神楽が、12月11日から12日にかけて、祓川神楽殿で祓川神楽が奉納されました。新型コロナウイルス感染症の影響で、2年ぶりに一般公開された神楽ですが、真剣を手に舞う舞手の緊張感がひしひしと伝わり、厳かにそして勇壮に奉納される舞に、厳しい寒さの中でも、神楽を見学に来た人々が息をのむほど魅了されていました。

国の重要無形民俗文化財にもなっている高原町の貴重な文化財を、多くの方々に知っていただく機会となりました。



夜空を彩る 第53回まつり高原2021

12月12日、総合運動公園において第53回まつり高原2021が開催されました。今年は新型コロナウイルス感染症対策の観点から、町民限定となりましたが、会場には多くの方々が来場され、子どもたちの太鼓の演奏、ダンスの披露に、会場は大いに盛り上がりしました。まつりのフィナーレは、レーザー光線と音楽の演出による大花火大会で、色鮮やかで大きな花火に観客は魅了されていました。

主催、運営いただいた高原町商工会青年部の皆さんは、数々の苦難を乗り越えながら、たくさんの想いを背負い尽力いただきました。冬の開催という新たな試みでしたが、高原町民に希望と感動を与える素晴らしいまつり高原となりました。



高原町商工会
青年部部长
山口廣大さん



まつり高原
実行委員長
永野正志朗さん



高原町の公共施設

公共施設等整備の基本方針について

町内にある多くの公共施設で老朽化が進んでいます。このため、計画的、効率的に整備する必要があることから、今回、公共施設等整備の基本方針を決定いたしましたのでご報告します。今後は町民の皆さまに丁寧な説明をしながら、この基本方針に基づき公共施設等の整備を進めてまいります。

高原町長 高妻経信



現状と課題

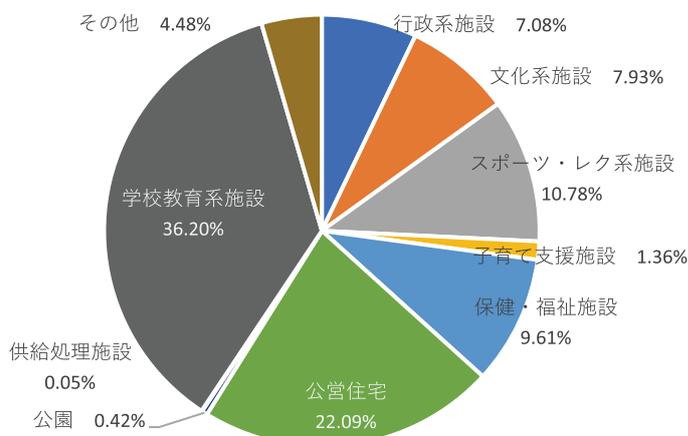
令和3年4月現在、町が保有する298の公共施設等の建物（延床面積で68,450㎡）のうち、約3割にあたる87の建物（延床面積で21,259㎡）は昭和56年（旧耐震基準）以前に建てられており、公共施設の老朽化が進んでいるため、町民の皆さまが安全かつ快適に利用できるように、早急な対応が求められています。

本町は急激な人口減少と厳しい財政状況下で、老朽化が進む公共施設を、長期にわたり計画的、効率的に整備する必要があることから、役場庁舎、学校をはじめとする公共施設等の整備方針を定め、将来にわたり、町民の皆さまが必要とするサービスを持続的に提供できる活力と魅力あるまちづくりを行う必要があります。

【施設分類ごとの施設数及び旧耐震施設の状況】

施設名	施設数	延床面積	旧耐震施設面積	旧耐震施設割合
行政系施設	20	4,844㎡	3,066㎡	63.30%
文化系施設	20	5,425㎡	768㎡	14.10%
スポーツ・レク系施設	70	7,380㎡	2,757㎡	37.40%
子育て支援施設	3	934㎡	934㎡	100.00%
保健・福祉施設	5	6,580㎡	0㎡	0.00%
公営住宅	79	15,119㎡	4,427㎡	29.30%
公園	3	290㎡	0㎡	0.00%
供給処理施設	1	33㎡	0㎡	0.00%
学校教育系施設	84	24,779㎡	8,513㎡	34.40%
その他	13	3,066㎡	794㎡	25.90%
総計	298	68,450㎡	21,259㎡	31.10%

【施設分類の割合】



役場庁舎の耐震強化について

災害時の拠点施設となる役場庁舎については、耐震性が保たれておらず、早急な対応が必要です。当初、役場庁舎は耐震補強工事を進める方針でありましたが、平成30年8月に庁舎の建材の一部にアスベストが含まれていることが判明しました。また、耐震補強工事を行うには仮庁舎等の費用がかかり、工事費が当初の3億円から倍以上の6億4千万円となることや、耐震工事を行っても建物自体の寿命は変わらないことから、耐震補強工事を断念したところです。

現在の庁舎と同規模の建物を新築した場合の工事費用は、平成29年の試算によると約12億円と見込まれています。建て替えには役場周辺施設を一体的に整備する必要があり、役場庁舎や学校施設をはじめとする公共施設の整備方針について、庁舎内部での検討を行い、令和3年8月に「高原町公のたてもの等整備検討委員会」に諮問し、同年11月に答申を受けたところです。



これまでの経過

平成28年5月	庁舎内で耐震化の検討開始
12月	庁舎内で耐震補強工事での方針決定
平成29年8月	町議会全員協議会にて耐震補強の方針説明
平成30年8月	庁舎の建材にアスベストが含まれていることが判明
令和元年9月	町議会全員協議会にてアスベスト対策等により耐震補強工事は断念するとの説明
令和元年12月～	庁舎内で庁舎の建て替え及び学校統廃合等について協議（学校統廃合についてはP18・19を参照）
令和3年8月	高原町公のたてもの等整備検討委員会に諮問
11月	高原町公のたてもの等整備検討委員会より答申
11月	公共施設等整備の基本方針を決定（学校・庁舎等）



公のたてもの等整備検討委員会での審議の様子



公のたてもの等整備検討委員会での現地調査の様子

高原町公のたてもの等整備検討委員会での検討

町長より委嘱された各団体の代表及び建築士など11名により構成される本検討委員会において、令和3年8月26日から3回にわたり、現地調査及び審議を行っていただきました。

令和3年8月26日	審議
令和3年10月19日	現地調査（高原中学校・ほほえみ館周辺）・審議
令和3年11月11日	審議及び答申

公共施設等整備の基本方針

- (1) 町内の公共施設等を整備するにあたり、特に老朽化等が進んでいる役場庁舎・学校・中央公民館・保育所・体育館について優先的に進める。
- (2) その中でも、高原町の次世代を担う子どもたちにより良い教育環境の整備と学校教育の充実は欠かせないことから、小中一貫教育を見据えた小学校の建設を先に進め、その後に庁舎建設を進める。その他の施設については庁舎建設後に計画的に整備を進める。
- (3) 小学校建設は令和7年度完成を目標に進める。建設予定地は、現在の高原中学校敷地内とし、整備規模・内容については関係機関及び関係者と連携し検討を進める。
- (4) 庁舎の建て替えは、小学校建設後の令和8年度以降とし、建設予定地は、ほほえみ館周辺とする。必要な検討を小学校建設と並行して行う。

公共施設等を整備するにあたり留意すること

- 公共施設整備を確実に推進するため、財源の確保と共に組織体制を整備し、全庁的に連携を密にして計画的に取り組む。
- 学校の統廃合については、地域住民や保護者、学校関係者に丁寧でわかりやすい説明と情報提供を行い理解を得ることや、学校の跡地利用については、統合により地域に閉塞感等が生じないように、住民による幅広い地域活性化策が推進されるよう努める。また、教育施設の整備に加え、外国語教育・ICT教育などの教育内容の充実やいじめや差別のない心の教育を推進し、高原町の小中学校に通うことによるよこびと誇りが醸成される環境づくりに努める。
- 役場庁舎については、ほほえみ館と一体となることで、子育て世代をはじめ、住民に親しまれる行政の拠点となるよう整備する。
- 公共施設を整備することによって、町民が高原町に住み続けて安心して生活ができるようなまちづくり、町外の方も高原町に住んでみたいと思われるまちづくりの推進に努める。
- 今後の公共施設の整備によって、町民が夢と希望をもって暮らせるよう、本町の特性を十分活かしながら、現場や地域が一体となり計画を推進するよう努める。

高原町立小・中学校の施設整備について

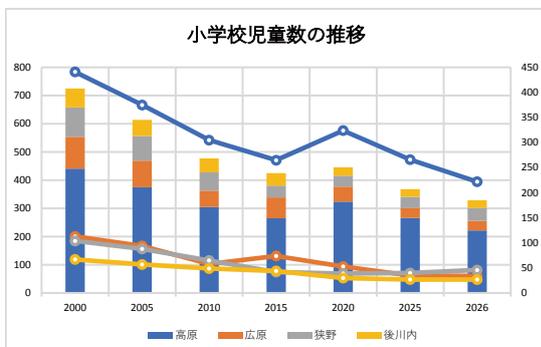
全国的に少子化が進む中、本町においても児童生徒数の減少が続いており、今後もその傾向は続くことが見込まれています。

高原町教育委員会では、平成16年の後川内小学校での複式学級開始を契機に学校規模適正化の検討を始め、現在各種検討委員会より、いずれも小学校1校・中学校1校の統合方針を内容とした答申をいただいています。また、高原町立後川内中学校検討委員会より、後川内中学校を高原中学校へ統合する基準を示した答申もいただいています。

児童生徒数の将来推計

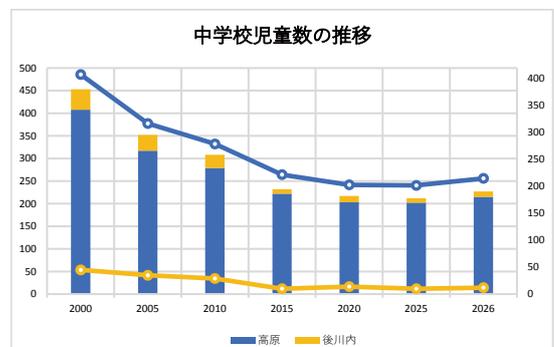
【小学校】

年	2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)	2025 (R7)	2026 (R8)
児童数	725	614	477	425	446	368	329
高原	441	375	305	265	324	266	222
広原	113	94	58	74	53	35	34
狭野	104	88	65	42	39	40	46
後川内	67	57	49	44	30	27	27



【中学校】

年	2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)	2025 (R7)	2026 (R8)
生徒数	453	352	308	232	217	212	227
高原	408	317	279	222	203	202	215
後川内	45	35	29	10	14	10	12



高原町立小・中学校施設の状況

高原町の学校施設は高原中学校を除き、老朽化が著しく、小学校の統合は、新校舎建設を伴うこととなります。加えて高原町では、役場本庁舎の耐震化整備という懸案事項もあり、その手法については、現在の高原小学校など教育関連施設を含んだ役場周辺施設の再整備と併せて実施していかねばならない状況となっております。

これらのことから、現在の高原中学校の敷地内に新校舎を建設し、小中一貫教育校（義務教育学校）を視野に入れた施設整備を行うこととしました。

これまでの経過

- 平成16年 後川内小学校で複式学級開始
- 平成18年 小規模特認校の指定及び学校規模適正化の検討
- 平成19年 「高原町立小中学校の適正規模及び適正配置のあり方」方針決定
広原小学校で複式学級開始（単年のみ）
- 平成21年 高原町立小・中学校規模適正化検討委員会 統合答申
- 平成22年 高原町長より平成25年の統合は困難との回答
狭野小学校で複式学級開始
- 平成23年 高原町ならではの「一貫教育（連携型）」開始
- 平成26年 後川内中学校で複式学級開始
- 平成27年 後川内中学校入学者が皆無
- 平成28年 高原町立後川内中学校検討委員会
高原中学校への統合条件答申
- 平成31年 広原小学校で複式学級再開
- 令和2年 高原町学校のあり方検討委員会 答申



高原町学校のあり方検討委員会での審議

これまでの答申を踏まえ、令和3年5月11日の高原町教育委員会定例会において高原町学校規模適正化基本方針を決定し、同月14日に当該基本方針を付した「高原町立小中学校のあり方について」を高原町長へ具申しました。

新しい時代の高原っ子のために

本町では平成23年から高原ならではの一貫教育を推進し、「未来を創る 心豊かでたくましい 高原っ子の育成」をめざしており、基本方針では、「統合と合わせて魅力ある学校教育を展開するため、小中一貫教育のメリットを活かすように検討を行う。」として更なる一貫教育の推進を図ることとしています。

また、新校舎については令和7年度までの整備を目標としており、施設の整備方針は次のとおりです。

- (1) 児童・生徒が快適な学習環境の中で、心身ともに健康な学校生活を送ることができる施設
- (2) 多様化する教育内容へ対応する施設
- (3) 新型コロナウイルス感染症や今後の感染症等に備えた施設
- (4) 児童・生徒が安全・安心に生活できる施設
- (5) 児童・生徒が積極的に異学年との交流を図れるとともに、小・中学校の教職員が授業交流を円滑に行える施設
- (6) 学校と地域住民との交流が図りやすい施設
- (7) 有事の際の避難所の機能を備えた施設



高原中学校（上空から）

これからのスケジュール

	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)
基本構想 ・基本的な考え方 等	→				
基本計画 ・予定教室数、規模、イメージ図 等	→				
基本設計 ・平面図、立面図などの基本設計図 等		→			
実施設計 ・詳細設計、詳細な仕様、整備費用 等			→		
建設工事 ・建築主体工事、電気工事 等				→	
説明会 ・PTAへの説明、町民への説明 等		→			

高原町学校教育目標

未来を創る 心豊かでたくましい 高原っ子の育成





“豊かな自然に恵まれた あかるい大地の広がる この町のありのままの魅力を伝えたい” そんな想いで綴っていきます。

CHIKI OKOSHI KYORYOKUTAI 河原 恵美

高原町並木区の国道沿いに10月からオープンした木工販売の店「とらすと木工販売」。オーナーの上山博人さんが、自ら選んだ素材でデザインされた小物や家具類を主体に、陶芸やアクセサリーなども販売されています。お店へ入ってみると、空間いっぱい漂う木々の良い香りにくらくら…。しばし天然のアロマ空間に癒されます。

とらすと木工販売



そして店内を見回してみると、個性豊かな面々が不思議と調和するように並んでいました。

「趣味。好きだからやってるだけ」

そう笑いながらさっぱりと言いつつ上山さんは、元々ものづくりが大好き。定年を迎える頃から様々な道具を揃えつつ、自宅で小物作りから始めます。そのうち徐々に本格的な家具なども作り始め、お店を構える運びとなり、晴れてオープンとなったのです。



基本的な角を取るのが好きだという上山さんが作るものは、つい撫でてみたくなるような優しくて柔らかな雰囲気。オープンして程なくですが、通り

がかりに寄ってくれたお客さんから注文を受けたら、お店にお仲間がお茶を飲みきたりと、にぎわっている様子がうかがえます。

「明日生きてる保証はないからね、一生懸命生きて、やりたいことをやりたい」と言う上山さん。好きだからやっている、という自然でまっすぐな心持ちで作られたものたちには、そのまま良いエネルギーみたいなものが宿っていて、それを手にしたこちらまで嬉しい気持ちになってきます。とても気さくなご主人ですので、ぜひお立ち寄りください。素敵な出会いがあるかもしれませんよ。



上山さんの作業場。ここから素敵なものたちが生まれていくことでしょうね！ 営業時間 9:00 ~ 16:00 ※不定休



Cafe
Minceette



皇子原公園、神武の館内の一角に新しくオープンした「カフェミネット」。コーヒーとマフィン、アイシングクッキー等が販売されています。オーナーである中堂園歩美さんは、子どもの頃からお菓子やパンを作ることが大好き。いつか自分のカフェをオープンしたいという夢を描いていました。

そんなあるとき、人にいただいた桜の塩漬けで「桜のダックワーズ」を作ったことが、夢への扉を開くこととなったのです。

中堂園さん「いろんな方に『美味しい』と言っていたいただき嬉しかった。それまでは使う材料などあまり気にせず、ただお菓子を作れば良いと思っていましたが、地元の生産者の方とコラボして作り上げることに、今までにない楽しさを感じました。それに、自分が結婚してから仕事と家事の両立の大変さを身をもって知ったことで、子育て世代の方々にもほっと一息ついてもらえるようなひとときを届けたいという気持ちもあります」



クッキー制作過程。お店のシンボルマークであるネコの他、季節感のあるアイテムが揃います。もう、かわいいの一言！

「高原町に自分の行きたいカフェがあったら嬉しいな…」そんな想いが通じたのか、人や場所などの縁が重なっていき、念願のカフェ経営を実現するに至ったのです。

そしてオープン当日には、皇子原公園でのイベントも重なったこともあって沢山の人が並び、マフィンも早々に完売してしまうほどの大盛況！順調なスタートですが、まだまだ修正は必要、やりたいことも沢山あるといいます。

中堂園さん「やってみると想像以上に大変（笑）だけども恵まれた環境でできることに感謝しています。今後はネット販売を始めたリ、季節ごとにメニューに変化を出していきたい。今は土日限定の営業ですが、ゆくゆくは少しずつ平日も開けていきたいなと思っています」

店名の由来を聞くと、「ミネット」はフランス語で『子猫ちゃん』という意味。ロゴのスペルに多めに並ぶ“e”は沢山の人に来てもらえたらいいなという願いを込めて。子猫ちゃんのようなお客さんが沢山集まってくれるといいな…と思って！と笑うチャームिंगな中堂園さんの作るアイシングクッキーが、これまた可愛いのです。

見るからに丁寧な手仕事が見受けられ、つい誰かにプレゼントしたくなるような気持ちになります。店頭で常時数種類販売されるというマフィンには、フルーツが使われていたり、ミートソースやカレー仕立てのものもありバリエーションが豊富。コーヒーとの相性もよく、公園でゆっくりお茶を楽しめるようなメニューが揃っているのです。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



基本はテイクアウトですが、店周辺に飲食スペースがあるので、ご自由にゆっくりして下さいね。
営業時間 10時～15時半
営業日 ※当面の間は土日営業になります。詳細についてはインスタグラムをチェックして下さいね。



ブログは
高原町HPから
↓行政の窓口
↓移住の窓口
7月～7月 下り



▶ なぜ、地域商社を立ち上げるのか？

時代の変化

時代の変化や多様性の広がりやスピードを増しており、柔軟性とスピード感を持って事業を実施していく必要があります。

民間との連携

行政では対応が難しい課題を、民間（地元事業者・町外企業・ベンチャー企業など）の力で解決していくことが求められます。

起業支援と人材育成

多くの人々との交流の中で、様々なアイデアを出していくことで、若者の仕事を作りながら起業を促進し、民間のキーマンを育てていく必要があります。

地域商社を設立します

▶ 高原町はどう変わるのか？

町内産品の商流を作る

町民の所得向上を図るため、農畜産物を主軸とした新商品の開発を行うとともに、既存事業者のマッチングを図ることで、新たな価値を創造します。また、積極的なPRを行いながら、ふるさと納税やインターネット通販を通じて販路を拡大します。

企業・団体との連携を深化

積極的に企業や団体との連携を深めるとともに、行政と企業の連携の橋渡しも行います。また、企業の公益的な取組み（SDGs、カーボンニュートラル、CSR、ECO など）*の窓口として、新たな地域の発展につなげていきます。

郷土愛（シビックプライド）を育む

取組みをしっかりと広報することで、町民特に子どもたちに対し、郷土の誇りや魅力を伝え、定住や若者の仕事の創出につなげていきます。

ガスの排出量と吸収量を均衡させる
2050年までに温室効果ガスの排出
ートルルを目指すことを宣言した。

CSR … 企業が組織活動を行うにあたって担う社会的責任のことで、社会的責任とは、従業員や消費者、投資者、環境などへの配慮から社会貢献までの幅広い内容に対して適切な意思決定を行う責任のこと。

▶ 地域商社の事業内容

高原町を資源として稼ぎ、高原町の未来を拓くために、物産と観光を中心に様々なまちづくりの事業を行う地域商社設立を目指します。

ふるさと納税事務受託事業



ふるさと納税事務を受託し、スピーディかつ魅力的な企画を行い、ふるさと納税を拡大することで、全国へ向けて高原町を発信します。

特産品開発事業



高原町の事業者や生産者の持つ、既存の技術や商品、農産品などを存分に生かし、共同企画や外部の知見等を取り入れるなどの手法で新たな特産品等を作ります。

特産品販路拡大事業



新たな販路の開拓や、プロモーション企画、インターネット通販などを行うことで、意欲的な町内の事業者が稼ぐことができる仕組みを作ります。

その他、事業承継、空き家整理、人材育成、起業支援など、様々な地域資源の活用や、地域貢献を目的とした事業に年次的に取り組んでいきます。

令和4年5月 高原町

▶ 連携パートナー

企業・団体の持つ知見や強みを活かしながら、より充実した地域商社運営の為に、しっかりとした連携を図ります。また、今後も町内外の様々な企業・団体との連携を予定しております。

日本航空株式会社 (JAL)



高原町と JAL が相互連携を強化しながらそれぞれがもつ物的・人的・知的資源を有効に活用し、地域全体の活性化を図ります。

高原町 産業官民連携推進官 吉田 雄人 氏



高原町産業官民連携推進官吉田雄人氏が、町外から高原町を応援してくれる事業者等の橋渡しとなり、町内の資源や商品、事業を磨き上げます。

九州地域間連携推進機構株式会社



人材確保や様々な地域おこしに精通したメンバーが多数所属し、地域商社と伴走して課題解決に取り組めます。

株式会社ライトライト



高原町の事業承継問題を、日本初の市町村単独事業承継マッチングサイト「relay the local × 高原町」を活用しながら、地域経済の維持・活性化につなげます。

SDGs … 国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発目標」。「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界のみならず2030年までに解決していこう」という計画・目標のこと。

カーボンニュートラル … 温室効果ことを意味する。2020年10月、政府はを全体としてゼロにする、カーボンニュ



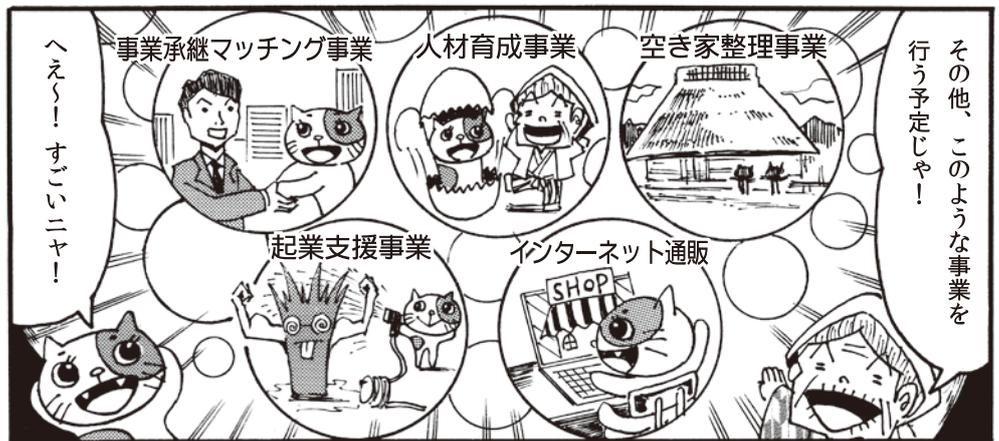
ばっばん

「高原町地域商社」って何？



ニヤン

ばっばんいっかせて





高原町地域商社では、商社の中心となって活躍いただく代表取締役を左記のとおり公募します。

1. 募集

(1) 募集人員
代表取締役1名

(2) 募集期間
令和4年1月4日(火)～

同年1月14日(金) 午後5時締切

(3) 業務内容

左記①～⑩に関する事務的・統括的業務

①ふるさと納税事務代行事業

②特産品開発事業

③町内産品販路拡大事業

④雇用拡大事業

⑤起業支援事業

⑥移住促進事業

⑦空き家利活用事業

⑧継業支援事業

⑨関係人口創出事業

⑩その他、当商社の目的を達成するために適当と認められる事業

※地域商社設立当初は①～③の業務を優先的に行う。

(4) 求める人物像

①高原町地域商社設立中間計画に共感できる方(下記URL補足資料参照)

②高原町在住、高原町出身又はゆかりのある方

③様々な関係者との協働が多くなるため、前向きなコミュニケーションが取れる方

④地域や人の魅力を見出すことに喜びを感じる方

⑤新しいビジネスを立ち上げることに喜びを感じる方

⑥地域を巻き込み、地域一体となつて取り組むことができる方

⑦これまでに培った経験や経歴に基づき、特に柔軟なアイデア、情報発信力を持つ方

⑧本町の資源を生かした取り組みを実践するなど、地域商社に結び付けるノウハウを有する方

2. 応募

(1) 応募資格

①町内事業者等と共に地域商社の事業を推し進める行動力のある方

②当会社運営に専念できる方(副業の原則禁止)

③普通自動車第一種免許を有している方

④高原町に拠点を設けて活動可能な方(住民票の移動は不問)

※ただし、原則として月20日間は町内にて活動することを要する。

⑤昭和47年4月2日以降に生まれた方

⑥次のいずれかに該当する人は、応募できません。

・禁固以上の刑に処せられ、その執行を終るまで、また、その執行を受けることがなくなるまでの方

・日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを目指す政党その他の団体を

結成し、又はこれに加入した方

(2) 提出書類

別紙様式を使用し、以下の書類を提出ください。

①履歴書(3か月以内に撮影した写真を貼付)

②自己PRシート(テーマ「高原町のために、私ができること、やりたいこと」)

(指定様式を使用し、図表等を含めてA4用紙4枚以内程度)

様式は次のURLからダウンロードしてください。

<https://www.town.takaharu.lg.jp/soshiki/19/104769.html>

(3) 応募方法

令和4年1月14日(金) 午後5時必着(郵送・持参またはメール)

F889-44492 宮崎県西諸

県郡高原町大字西麓899番地

高原町産業創生課財団設立準備室

TEL 422128

メール sangyou@town.takaharu.lg.jp

3. 選考

(1) 選考方法

①第一次選考 書類及びレポートによる選考

②第二次選考 面接による選考(選考場所は高原町内)

(2) 選考日程

令和4年

○1月14日(金) 午後5時応募締切

○1月19日(水) 書類審査合格通知

○1月28日(金)～30日(日)

第二次選考(面接)

○2月1日(火) 最終決定通知

4. 勤務

(1) 勤務条件

①役職 株式会社代表取締役

②勤務場所 高原町内

③勤務時間 午前8時30分～午後5時15分(休憩1時間)

※成果を重視し、勤務時間に関しましては業務に応じて柔軟に対応することが望ましい。

④給与 年額700万円程度(令和4年度)

※経営状況に応じて金額が変動することをご了承ください。

⑤その他、定めがないものについては、別途協議します。

(2) 勤務開始(予定)

令和4年4月1日から

5. その他

・提出書類は返却しませんので、予めご了承ください。

・提出書類に虚偽の記載があった場合は、採用しません。

・今回応募いただいた個人情報、募集に係る資料としてのみ使用し、その他の目的で使用することはありません。

・高原町産業創生課に直接ご提出いただく場合は、住所、氏名、電話番号、地域商社の名称をお書きの上、郵送(切手代は自己負担をお願いします)もしくは、産業創生課前の受付箱に投函ください。様式等は問いません。

・インターネット受付

○名称の決定は、ご応募いただいたものの中から、高原町にて選考させていただきます。

○決定した名称は、広報たかはる3月号にて発表いたします。

○プレゼントの当選者は発送をもって代えさせていただきます。

●お問合せ先

産業創生課財団設立準備室

TEL 422128

高原町では、広く町民から親しまれるために、地域商社の名称を募集いたします!

みなさまの声を力に

高原町 地域商社の名称を募集します!

を公募いたします。会社の形態は株式会社を予定しております。応募された方の中から抽選で高原町産宮崎牛を3名様にプレゼントします。つきましては、左記の要領でお申込みいただけますようお願い申し上げます。

○応募期間

1月4日(火)～1月14日(金)

○応募方法 高原町産業創生課に直接ご提出いただくか、左記のURLにてご応募ください。

<https://forms.gle/5LwuFq4AyXpNPYoX9>

・高原町産業創生課に直接ご提出いただく場合は、住所、氏名、電話番号、地域商社の名称をお書きの上、郵送(切手代は自己負担をお願いします)もしくは、産業創生課前の受付箱に投函ください。様式等は問いません。

○名称の決定は、ご応募いただいたものの中から、高原町にて選考させていただきます。

○決定した名称は、広報たかはる3月号にて発表いたします。

○プレゼントの当選者は発送をもって代えさせていただきます。

●お問合せ先

産業創生課財団設立準備室

TEL 422128



『自分の健康は自分で守りましょう』 健康に関するわだいをお届けします

ほほえみ館通信

今年度の健診受診期間がまもなく終了します

今年度の健診はもう受けられましたか？

「どこも悪いところはないから大丈夫」「面倒くさい」「太ってないから」と健診を受けない方もいますが、年に一度は健診を受けることで、自分の身体を知るきっかけになります。また、コロナ禍での生活様式の変化による運動不足や睡眠障害、ストレスなどから肥満や高血圧、糖尿病などの生活習慣病のリスクが高まっています。生活習慣病は、自覚症状がほとんどなく進行し、心筋梗塞、脳卒中などの重大な病気につながり、生活の質の低下や医療費の増大を招きます。健診を受ける事で、病気の早期発見、早期治療、予防につながります。年に一度は健診を受けましょう!!



特定（長寿）健康診査受診券の有効期限は1月末までです！

【対象】 特定健診：40歳から74歳の国民健康保険に加入の方

長寿健診：後期高齢者医療保険に加入の方

【費用】 無料（実際は10,000円程度かかる健診です。）

【健診内容】 問診・診察・身体測定・血圧測定・尿検査・血液検査・心電図（特定健診のみ）

【申込方法】 ※受けられる健診は年度内で下表のうち1つですので、ご注意ください！

個別健診（病院） ※実施医療機関は受診券の裏面を参照	→	直接、病院へ申込み 必要なもの：受診券と保険証
集団健診（ほほえみ館） 令和4年1月23日（日）	→	ほほえみ館健康づくり推進係へ申込み ※申込期日：令和4年1月7日（金）
簡易人間ドック （川井田医院、高原病院）	→	ほほえみ館健康づくり推進係へ申込み ※残りの枠が少なくなっています。

※なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、健診の実施内容等について変更が生じる場合がございますので、ご了承ください。受診券がお手元がない方は、再交付いたしますので、ほほえみ館健康づくり推進係へご連絡ください。

よくある質問



Q 特定健診は毎年受ける必要がありますか？

A 検査結果の数値が毎年どの程度変化しているのかを確認することで、身体の状態や変化を把握でき、病気の早期発見につながります。そのため、毎年1回は特定健診を受けることが大切です。

Q 定期的に医療機関を受診しているのでうけなくていいですか？

A ぜひ、特定健診を受診しましょう！生活習慣病などをいち早く発見する為の特定健診と、病院で治療の一環として受ける検査は目的が違います。通院中の方も主治医とご相談のうえ健診を受診してください。

【お問い合わせ先】 ほほえみ館健康づくり推進係（☎42-4820）

西諸地域精神保健福祉協議会について

●西諸地域精神保健福祉協議会とは？

当協議会は、小林市、えびの市、高原町における精神障がい者の福祉の増進並びに地域における精神保健の向上を図ることを目的として、活動しています。

●主な活動内容

①普及啓発活動

○こすもす祭（文化交流会）

例年秋頃に開催しており、精神障がいをもつ方々が、日々活動していることを発表する場になっています。ステージ企画や体験企画、作品展示を行っています。

○会報『ときめき』の発行

毎年3月に西諸地域精神保健福祉協議会だよりとして『ときめき』を発行しています。

○社会資源見学会

西諸地域の社会資源の理解を深めるために、精神障がい福祉事業所やグループホームを訪問し、見学をすることもあります。

○家族交流会

精神科医師より精神障がいに関する講義があり、講義後に意見交換会を行うこともあります。

②事業所への活動支援

○令和2年度、令和3年度ともに11事業所へ活動支援。

③会員募集

当協議会の活動経費は、すべて、会員の皆様からの善意で賄われております。



【お問い合わせ先】

（事務局）小林保健所 健康づくり課 ☎0984-23-3118

さかほこ 高原俳句会

一月号



高原

霧島の懐ひろく初山河

佐土原 武幸

豹柄のマスク気ままに初鏡

村原 澄子

巖かに霊峰に射す初日かな

横田 修

初釜や湯の沸く鈴音松の風

内村 登志美

石路の花ありがとう二度つぶやいて

入佐 典子

愛想よき斜め会釈の冬日傘

岩崎 富美子

腕まくる吾子の書初一途なり

桑原 リツ

拍手湧く繫ぐ襷や初雀

小村 明子

羽子突きもいつか昔になりけり

坂元 孝徳

元朝の幻想世界真澄御池

中園 直子

新燃岳の火山活動状況について

平成23年1月26日の噴火から11年が経過しようとしています。ここ数年間では火山噴火警戒レベルが2に上がったたり1に下がったりを繰り返しておりましたが、令和3年3月1日に1に下がって以降、火山性地震の回数も1日に数回、平均しても5回程度に安定しています（令和3年12月7日時点）。

また火山全体の膨張度を示す指数（噴火が近くと火山の地下にマグマが供給され、山が膨張するためこの指数を計測し、噴火の予兆現象として参考としています。）についても膨張は見られておらず、火山噴火の兆候は見られておりません。

しかしながら、先日硫黄山の西側で発生した火山性地震では、振幅の大きな火山性地震が観測され、西諸地域でも震度2を観測するなど体感できる火山性地震が発生しました。新燃岳単体で観測すると近い時期での火山噴火の予兆は見られてお

りませんが、霧島山全体を見るとやはりまだまだ終息には至っておらず、いつ活動が活発化してもおかしくない状態であることが伺えます。（※上記は記事作成時の火山状況です。）

平成23年の噴火から11年、平成29年の噴火から5年が経過し、被災時の記憶も次第に薄れていっているのではないのでしょうか。

1年に1回でも家族で被災時のことを思い出す日や災害備蓄、非常持ち出し袋の確認をするなど災害について考えるきっかけとなる日を作っただけでいいかと思いませんか。1月26日をそのようなきっかけとして捉えていただき、有事の際に「あの時考えておけばよかった。」「あの時やっておけばよかった。」という後悔が少しでもなくなるよう平時の防災に係る取り組みをお願いします。

本町としましても、防災講座の開催や、備蓄品の紹介、平時の公助となる取組みに力を入れてまいります。

※先月号の文末で、「次号で備蓄、備蓄品の種類等についてお知らせします。」と記載していましたが、1月26日が「新燃岳を考える日」のため、内容を変更しました。ご了承ください。

「高原町メールサービス」では、防災関連情報をメール配信しています。

下記のURLに空メールを送るか、右記のQRコードを読み取る事で、登録することができます。町民の皆様の登録をお願いします。

URL:t-takaharu@sg-p.jp(空メールをお送りください。)



こくほのコミニ

～あんま・はり・きゅう等について～

どなたにもある体の悩みの一つに、肩や腰・膝の痛み、神経痛等があります。こういった痛みの中には、通常の医療行為だけでは完治しにくい、あるいは完治したにも関わらず何となく不調になる等というものもあります。そういう時に利用されるのが、あんま・はり・きゅう等の東洋医学です。

高原町では、国保の被保険者を対象に、肩こりや腰痛等の理由により、あんま・はり・きゅう等の施術を受ける際、その施術費に対する一部補助を行っています。役場窓口で申請すると受療証が交付されますので、それを持って施術所に行けば、1回の施術費に対し900円、1日1回・月16回・年間48回を限度として補助するものです。

ただし、これは被保険者に対し直接交付されるのではなく、施術者が被保険者に委任されて受け取るという形で交付されます。

それともう一つ重要なのは、どこの施術所でも対象というわけではなく、町が指定した施術所で施術された場合が対象となります。

町が指定した施術所には、町から「指定証」が交付されています。令和4年1月現在、町内5か所、小林市29か所、えびの市2か所、都城・北諸・曾於地域7か所、宮崎1か所が指定されています。

こういった施術は、医療行為ではないため、健康保険は適用されませんが、中には、「特定の疾病である」「適切な治療手段が無く、医師が施術を同意している」等の条件に合致すれば、健康保険の適用を受ける事が出来ます。

お問い合わせ先

町民福祉課保険係 ☎42-1067（内線161）

お知らせ

マイナンバーカード

窓口の開設について

仕事や学業などで、平日の開庁時間内に窓口へ来られない方のため、左記の日程で窓口時間の延長と休日の窓口開設を実施いたします。

【1月の延長窓口】

○日時 1月13日（木）

午後5時15分～午後7時

○場所 高原町役場1階

町民福祉課住民係

【1月の休日開庁】

※事前予約が必要

○日時 1月30日（日）

午前8時30分～午後4時30分
（正午～午後1時を除く）

○場所 高原町役場1階

町民福祉課住民係

○予約締切日 1月26日（水）

午後5時まで

※定員になり次第、予約を締め切らせていただきます。

○注意事項

・休日開庁については予約制ですので、必ず事前にご連絡ください。

ください。事前予約が0件の場合、開庁いたしません。

・正面玄関は施錠されているため、役場西側（守衛室側）からお入りください。

・窓口ではマイナンバーカードに関する手続きのみ受け付けます。紛失等によるマイナンバーカードの再交付（有料）は、平日のみの受け付けとなります。各種証明書の発行や住民異動届は受け付けできません。

・15歳未満の方の手続きは、法定代理人の付き添いが必要です。本町のシステムにて同一世帯の続柄が確認できない場合は、法定代理人と本人の関係を認める戸籍謄本が必要となります。

◎お問い合わせ先

町民福祉課住民係

☎42-1067

Eメール

cyumin@town.takaharu.lg.jp



たかはるよりどり交流市開催

新年も元気に開催！
皆さんぜひお越しください。

1月は時間と場所が
変更になるニャー!!



○日時 1月16日（日）

午前9時00分～午後1時00分

○場所 高原町総合運動公園

○イベント

・椎茸コマうち体験

（先着200名限定、無料）

○その他

☆出店者・出店企業募集中！

イベント会場としても活用できます。お気軽にお問い合わせください。

☆交流市の内容に関する情報はフェイスブック「たかはるよりどり交流市」をチェック！

☆お問い合わせ先

たかはるよりどり交流市事務局

☎090-9601-1246

☆お問い合わせ先

たかはるよりどり交流市事務局

☆お問い合わせ先

たかはるよりどり交流市事務局

☎090-9601-1246

いつでもどこでもスマホ申告

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」では、スマートフォン又はタブレット（以下「スマホ等」という。）でも所得税の確定申告書を作成することができます。

○申告方法

スマホ等からe-Taxで申告

○対象者

次のどちらかに該当する方

①「マイナンバーカード」と「マイ

ナンバーカード方式対応のスマホ等」をお持ちの方

②事前に税務署で職員と対面による本人確認を行った後に発行される「IDとパスワード（I

D・パスワード方式に対応した

もの）」を取得している方

○その他

e-Taxで申告すれば、申告書の控えはPDF形式でスマホ等に保存することができます。

詳しくは、国税庁ホームページ（<https://www.nta.go.jp>）をご覧ください。最寄りの税務署にお尋ねください。

◎お問い合わせ先

小林税務署

☎0984-23-3126

◎お問い合わせ先

小林税務署

☎0984-23-3126

◎お問い合わせ先

小林税務署

☎0984-23-3126

高原町育英資金制度について

高原町では、高校、高等専門学校、専修学校、各種学校、短大、大学に在学する生徒又は学生で、経済的理由により修学が困難な方に対し、育英資金の貸付を行っています。

○申請資格者

次の全てを満たす方に対して、貸付を行います。

- ①本町に3年以上在住する方
- ②向学心に富み、品行方正な方
- ③在学学校長の推薦を受けることができる方

○貸付金額

【大学生】

月額 30,000円

【高等専門学校生】

月額 15,000円

【専修学校生及び各種学校生】

月額 20,000円

【高等学校生】

月額 10,000円

※各種学校生に関しては高等学校を卒業し、修業年限2年以上の方。

○貸付利率 無利子

○貸付期間

正規修業期間満了の月まで

○償還方法

正規修業期間満了の月の翌月から貸付期間の2倍に相当する期間に月賦均等償還

◎お問い合わせ先

高原町教育委員会学校教育係

☎42-1484

JR九州からのお願い

○線路付近の木の管理について

線路付近の土地を所有している方は、線路側に木が倒れないように管理をお願いします。倒木により損害が発生すれば、賠償請求をする場合があります。

また、線路の付近で木を切る際は、事前にJR九州に連絡をお願いします。伐採中に線路側へ木が倒れると列車の運行に支障をきたす恐れがあります。

○鉄道近接工事について

鉄道に関する事故は、一歩間違えれば脱線事故や感電事故等、大惨事を引き起こす可能性があります。

建物の建設・解体や、庭木や山林の木の伐採等、線路に近接した

作業を行う場合は、安全に関する打合せをさせていただきますので、事前にJR九州へご相談ください。

※作業内容や環境条件、使用重機によっては8m以上離れている場合でも近接工事の適用となる場合があります。

※近接工事により列車の運行や鉄道施設に影響があった場合には、損害賠償を請求させていただきます場合があります。

◎お問い合わせ先

JR九州 鹿児島鉄道事業部

☎099-256-1895

海でなにかあったら

「118番」

118番は海上における事件・事故に対し、迅速かつ的確に対応するための海上保安庁緊急通報用電話番号で、一般加入電話、公衆電話、携帯電話、PHS、船舶電話等から利用できます。

また、聴覚や発話に障がいを持つ方を対象に、スマートフォンなどを使用した入力操作により、海上保安庁への緊急時の通報が可能

となる「NET118」を運用しています。

事前登録制です。左記QRコードを読み取るか、entry@net118.jpを直接宛先に入力して空メールを送信すると、登録用メールが返ってくるので、案内される手順に従い登録してください。

◎お問い合わせ先

第十管区海上保安本部 総務課

☎099-250-9800



感電事故防止について

風揚げの季節になりましたが感電事故防止のため、電線付近で風揚げを行ったり、電柱や鉄塔に昇ったりしないようお願いします。

なお、万一風が電線等にかかった場合は、自分で取ろうとせず、お近くの九州電力送配電までご連絡いただけますようお願いいたします。

◎お問い合わせ先

九州電力送配電株式会社

都城配電事業所

☎0120-986-963

募集

パソコン教室生徒募集

小林高等職業訓練校では、パソコン初心者の方、初めから学びたい方向けに短期講座パソコン教室（有料）『楽しく学ぼう！初めてのパソコン講座』を開催いたします。

○講座日時

5回コース
3月2、4、7、9、11日
午前9時30分～正午

☆各コース無理なく学べます。

○定員 10名

※但し、5人未満の場合は開講できません。

- 応募締切 2月28日（月）まで
- 受講料 13,000円
- その他

来校時はマスク着用でお願いします。
・新型コロナウイルス感染症の状況により中止となる場合があります。
・新しい内容については、お問い合わせください。

◎お問い合わせ先

小林高等職業訓練校
（小林市真方438番地）
☎0984-23-6800



放送大学入学生募集

放送大学はテレビ・インターネットで授業を行う通信制の大学です。働きながら大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で、幅広い世代の方が学んでいます。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、約300の授業科目があり、1科目から学ぶことができます。
講師から直接講義を受ける面接授業（スクーリング）や、サークル活動等の学生交流も行われています。

ただいま2022年4月入学生を募集しています。詳しい資料を送付いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

○募集学生の種類

- 【教養学部】
- ・科目履修生
（半年間在学し、希望する科目を履修）
- ・選科履修生
（1年間在学し、希望する科目を履修）
- ・全科履修生
（4年以上在学し、卒業を目指す）

【大学院】

- ・修士科目生
（半年間在学し、希望する科目を履修）
- ・修士選科生
（1年間在学し、希望する科目を履修）

○出願期間

第1回 2月28日（月）まで
第2回 3月1日（火）
～3月15日（火）

○その他

資料請求は無料です。左記までお問い合わせください。

◎お問い合わせ先

放送大学宮崎学習センター
☎0982-53-1893
放送大学ホームページ
<https://www.ouj.ac.jp>





読書の旅人

オススメ新着本①

アリィはおとどけやさん

出版社/ひさかたチャイルド 作/大久保雨咲 絵/吉田尚令



お届けもの屋のアリィは、毎日大忙し。友達のイモムーと一緒に遊ぼうよ〜と誘っても「また今度ね!」の繰り返し。そんなある日、友達の大切さに気づいたアリィ…。

みつばちの兄弟ミッツとバッチやはなむぐりのムグリも登場するかわいらしい虫たちの世界の物語です。

オススメ新着本②

恋のゴンドラ

出版社/角川文庫 著/東野圭吾



この恋の行方は天国か地獄か? 真冬のゲレンデで巻き起こる男女8人の運命は…? 他人事とは思えないニヤニヤ、ハラハラ、ゾクゾクが止まらないどんでん返し連続の恋愛小説です。

●中央公民館図書室

開室時間 平日 8:30~17:15 休日 10:00~16:00
 年末年始の閉室日 29日(水)~令和4年1月3日(月)
 1月の閉室日 9日(日)、10日(月・祝)
 ※急遽お休みになる場合がございます。ご了承ください。
 ※来館される際は、マスク着用をお願いします。

●お問い合わせ先

教育総務課社会教育係 ☎42-1484

|| 寄付 ||



社会福祉協議会へ
11月受付分・敬称略

香典返し

【遺族】	【続柄】	【故人】	【地区名】
奥野 辰夫	妻	エミ	西広原区
竹之内 和江	夫	昭一	並木区
大迫 キミヨ	夫	光雄	上麓区
陣内 志眞子	夫	利彦	下麓区
未山 未子	夫	光春	下麓区

善意の寄付

柳原 崇成 (小林市)
神武ホール活性化委員会

☆ありがとうございました。

|| 110番
だより ||

11月の交通事故発生状況

人身	1	年計	15
物損	12	年計	104

携帯電話やスマートフォンに こんなメールが届いていませんか?

県内で NTT ファイナンス株式会社を装った詐欺メールが増えています。メールに案内された電話番号に電話をかけると、電話の相手から『□□□(有料サイト)に登録されていますが料金が未納です。支払わない場合は、法的措置の手続きをとります。』などと言って、ATMでの振込みや電子マネーを購入させて、現金をだまし取ろうとします。

もしメールを受け取ったら・・・

1人で悩まず、すぐにお家族や警察相談専用電話又は最寄りの警察署にご相談ください。

●相談窓口

警察相談専用電話 #9110
小林警察署 ☎23-0110

|| 119番
だより ||

11月の出動状況

火災	1	年計	12
救急	39	年計	325

11月中、高原町では1件の火災がありました。火の取り扱いには十分注意しましょう。

|| 人口の動き ||

現住人口調査 令和3年12月1日現在

町の総人口		対前月比	対前年同月比
総人口	8,511人	-14	-32
男	4,054人	-9	-17
女	4,457人	-5	-15
世帯数	3,744世帯	-7	-63
転入	30	出生	3
転出	26	死亡	21

※今月より、令和2年国勢調査確定値をもとに集計し、推計したものを掲載しています。なお、令和2年10月からの現住人口についても、令和2年国勢調査確定値を反映したものに修正しています。



1月のカレンダー

神武の里

日曜	内容	場所	時間	担当課
8 土	トレーニングコース	ほほえみ館	13:00～18:00	ほほえみ館
9 日	リサイクル・有害・その他ごみの日	各リサイクル集積所	7:30～9:00	町民福祉課
10 月	いきいき教室	ほほえみ館	10:00～11:00	高齢者 あんしん係
	もやせるごみの日 (祝日収集)	もやせるごみ集積地区 の各ごみ集積所	8:30まで	町民福祉課
11 火	母子健康手帳交付	ほほえみ館	9:30～11:30	ほほえみ館
	トレーニングコース	ほほえみ館	17:30～21:00	ほほえみ館
	古紙リサイクルの日	もやせるごみ集積地区 の各ごみ集積所	8:30まで	町民福祉課
12 水	消費生活相談	高原町役場	10:00～15:00	総合政策課
	肩こり腰痛予防教室	ほほえみ館	9:30～11:30	ほほえみ館
	廃プラリサイクルの日	各ごみ集積所	8:30まで	町民福祉課
13 木	トレーニングコース	ほほえみ館	17:30～21:00	ほほえみ館
	民児協定例会	ほほえみ館	13:30～16:30	社会福祉 協議会
	古紙リサイクルの日	もやせるごみ集積地区 の各ごみ集積所	8:30まで	町民福祉課
14 金	肩こり腰痛予防教室	ほほえみ館	9:30～11:30	ほほえみ館
	古紙リサイクルの日	もやせるごみ集積地区 の各ごみ集積所	8:30まで	町民福祉課
15 土	トレーニングコース	ほほえみ館	13:00～18:00	ほほえみ館
16 日				
17 月	いきいき教室	ほほえみ館	10:00～11:00	高齢者 あんしん係
18 火	3歳6か月児健診	ほほえみ館	13:00～13:30 受付	ほほえみ館
	トレーニングコース	ほほえみ館	17:30～21:00	ほほえみ館
19 水	肩こり腰痛予防教室	ほほえみ館	9:30～11:30	ほほえみ館
	オレンジカフェたかはい さの	南狭野区 東前野	14:00～16:00	高齢者 あんしん係
	町民生活相談	ほほえみ館 相談室	9:00～12:00	社会福祉 協議会
	廃プラリサイクルの日	各ごみ集積所	8:30まで	町民福祉課
20 木	人権相談	ほほえみ館	10:00～15:00	総合政策課
	トレーニングコース	ほほえみ館	17:30～21:00	ほほえみ館
21 金	肩こり腰痛予防教室	ほほえみ館	9:30～11:30	ほほえみ館
22 土	トレーニングコース	ほほえみ館	13:00～18:00	ほほえみ館
23 日	集団健診	ほほえみ館	8:30～	ほほえみ館

日曜	内容	場所	時間	担当課
24 月	いきいき教室	ほほえみ館	10:00～11:00	高齢者 あんしん係
25 火	母子健康手帳交付	ほほえみ館	9:30～11:30	ほほえみ館
	子宮がん・乳がん検診	ほほえみ館	9:00～受付	ほほえみ館
	トレーニングコース	ほほえみ館	17:30～21:00	ほほえみ館
	オレンジカフェたかはい 上麓	霧島団地前	10:00～12:00	高齢者 あんしん係
26 水	肩こり腰痛予防教室	ほほえみ館	9:30～11:30	ほほえみ館
	廃プラリサイクルの日	各ごみ集積所	8:30まで	町民福祉課
27 木	トレーニングコース	ほほえみ館	17:30～21:00	ほほえみ館
	乳幼児もぐもぐ大すき 教室	ほほえみ館	10:00～11:30	ほほえみ館
28 金	肩こり腰痛予防教室	ほほえみ館	9:30～11:30	ほほえみ館
29 土	トレーニングコース	ほほえみ館	13:00～18:00	ほほえみ館
30 日				
31 月	いきいき教室	ほほえみ館	10:00～11:00	高齢者 あんしん係

2月のカレンダー

1 火	トレーニングコース	ほほえみ館	17:30～21:00	ほほえみ館
2 水	肩こり腰痛予防教室	ほほえみ館	9:30～11:30	ほほえみ館
	町民生活相談	ほほえみ館 相談室	9:00～12:00	社会福祉 協議会
3 木	トレーニングコース	ほほえみ館	17:30～21:00	ほほえみ館
4 金	肩こり腰痛予防教室	ほほえみ館	9:30～11:30	ほほえみ館
5 土	トレーニングコース	ほほえみ館	13:00～18:00	ほほえみ館
6 日				
7 月	いきいき教室	ほほえみ館	10:00～11:00	高齢者 あんしん係

今月は、町県民税(4期)、国民健康保険税(8期)、
後期高齢者医療保険料(7期)、
介護保険料(8期)の納期です。

編集後記

新年あけましておめでとうござい
ます。
皆様方におかれましては、希望に
輝く新春をお迎えのこととお喜び申
し上げます。

余談ですが、新年を迎えるにあたり、「今年の目標」を掲げる人が多いのではないのでしょうか。口数の多い私は、子どもの頃は毎年同じ「クールな男を目指す」という目標を掲げ、冬休み明けの登校初日に、目標を打ち砕かれていたことを思い出します。さて、そんな私の今年の目標は：「変わらず、クールな男を目指す」です。これは口数のことではありません。それは諦めました。

昨年は、初めての業務に慣れず、追われるばかりで、クールとはほど遠い仕事をしていました。今年は、計画をしっかりと立て、余裕を持って仕事に取り組みたいと思います。さらに、余裕を持つことで来た時間に、新たな企画等にチャレンジし、より良い広報紙を皆さんにお届けできるよう精進いたしますので、今年もよろしくお願いたします。

石ヶ野



高原町ホームページ
QRコード

みんなの広場

令和4年1月1日 No.729

広報 たかはる



発行：高原町 編集：総合政策課

〒889-4492 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地
TEL 0984-42-2115 <https://www.town.takaharu.lg.jp>

我が家のアイドル むじむじ



よしき
清水 啓騎 くん (1歳2か月)

父:志朗さん 母:梨那さん (下後川内区)

~ Message ~

まさに、わんぱく盛り!

元気一杯、大きくなってね!!

まちのアート展



かかしコンテスト

今年度、創立 30 周年を迎えた社会福祉法人興愛会 (理事長 原田武寛氏) が「かかしコンテスト」を行いました。

一部は神武ホール玄関に展示され、道行く子ども達から歓声が上がっていました。

高原の風物詩

高原駅周辺のイルミネーション

冬になると高原駅周辺には、イルミネーションが輝く幻想的な世界が広がります。

これは、よくしろうや会、高原ライオンズクラブ、高原町観光協会、高原町商工会が設置しているもので、12月1日に点灯式が行われ、道行く人を魅了しています。1月15日まで点灯していますので、高原町の冬の風物詩をぜひご覧ください。

